松保地区　地域づくり懇談会　　議事録

１　日　時　平成２６年１１月７日（金）　１９：００～２０：１５
２　会　場　松保地区公民館
３　出席者　地元出席者　　４７名
市側出席者　　１２名
深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、田中企画推進部長、藤井都市整備部長、尾室教育委員会事務局長、谷村農林水産部次長、高橋秘書課長
＜事務局＞馬場協働推進課長（司会）、岡本協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、田中協働推進課主事

４　地域の重要課題について

１　地域活動の拠点である地区公民館の施設整備について

＜地域課題＞

地域づくりは、行政と民間、そして住民同士の相互理解と信頼のもとでの活動が基本であるが、その拠点となるのが地区公民館である。

本地区の公民館は、昭和５５年新築（築３４年）鉄骨・木造建築で、１，３５２世帯、人口３，７２８人（国勢調査）を対象とした施設である。小規模な建物である上に傷みがひどく、歪で狭い敷地にあることから、住民活動に様々な支障が生じている。

鳥取市の自治基本条例では､｢地区公民館をコミュニティ活動の拠点施設として位置づけ、コミュニティの充実・強化に努める」としていることからも、公民館の施設整備は喫緊の課題である。

ついては、次の諸点に配慮をお願いしたい。

〇地域の諸活動に対応した公民館の設備改善
・畳（和室）の会議室だけでなく、椅子式の洋室の会議室
（座位による足腰の痛みからの解放）
・諸活動や使用者に配慮した設備改善
（調理室・トイレ・駐車場等）
・高齢者や障がい者に配慮した設備

＜担当部局の所見等＞

【企画推進部】

本市では現在、地区公民館の施設改善として、耐震補強工事とトイレ男女別化改修工事に計画的に取り組んでいるところです。また、耐震診断の結果、整備が必要となる場合は、耐震補強工事で取り組むことを原則としています。

松保地区公民館につきましては、平成２４年度に耐震診断を行った結果、耐震補強工事が必要となりました。耐震化整備計画としましては、平成２８年度に耐震設計、平成２９年度に耐震補強工事と併せて、トイレ男女別化改修と和室のフローリング化（洋室化）も行いたいと考えています。

また、その他の設備の整備については、地域の要望を踏まえて改善に努めていくこととしています。

（企画推進部長）
鳥取市では現在、地区公民館の施設改善として、耐震補強工事とトイレの男女別化改修工事に計画的に取り組んでいます。また、耐震診断の結果で整備が必要となる場合には、耐震補強工事に取り組むことを原則としています。松保地区公民館については、平成２４年度の地域づくり懇談会の際に、耐震診断の結果を見て対応を検討していくとご説明しており、診断を実施した結果、耐震補強工事が必要という結果になりました。計画としては、平成２８年度に耐震設計を行い、平成２９年度に耐震補強工事を行う予定にしています。これに併せ、トイレの男女別化の改修と和室をフローリングにする洋室化を行いたいと考えています。その他の設備についても整備のご要望がありますので、地区のご要望を踏まえ、改善に努めていきたいと考えています。

（地元意見）
耐震改修によって、建物を何年程度もたせる計画ですか。

（企画推進部長）
原則６５年以上使用するという考え方で、耐震補強をすることにしています。築３５年の建物であれば、耐震補強などによってさらに３０年ほど耐用年数をもたせ、全体で６５年以上使用するという考え方です。

（地元意見）
新築という考えはありませんか。耐震改修では、またお金がかかります。

（深澤市長）
市内の地区公民館については、建築年次と老朽化の度合い等によって、全市的に順次耐震改修や、場合によっては新築等により対応をさせていただいています。松保地区公民館については、平成２８年度に設計して平成２９年度に耐震補強工事を実施し、それに併せて施設内の改修をする計画ですので、ご理解いただきたいと思います。

（地元意見）
松保地区には、日吉台や山王団地などの団地が一度に増えました。そこだけでも３００世帯以上増えています。それに対応できる施設を考えてほしいです。今日の回答資料には、人口増加への対応が全然書いてありません。地区からの設問でキャパシティについて説明していないため、回答も耐震ありきになっているのだと思いますが、地域の人口や生活がどんどん変わってきているところを加味して、もう一度考えてもらいたいです。

（企画推進部長）
市内には６１地区あり、各地区によって、人口の増減や地区公民館の使用実態があると

思います。耐震改修や新築等については市内全体で順次対応させていただきますし、それを進めるにあたっては地区の実情をしっかりと把握しなければならないと思っていますが、他の地区との整合性も取りつつ進めていかなければなりませんので、そのあたりはご理解ください。

（地元意見）
人口増加などに対応して、増築する考えはありませんか。

（深澤市長）
松保地区公民館の現在の床面積は３７０ｍ^{2}ですが、鳥取市が地区公民館の基準として考えている床面積は４５０ｍ^{2}ですので、床面積が少し小さいとは感じています。可能性として若干の増築もあり得ると思いますので、そのあたりも含めて検討させていただきたいと思います。

（地元意見）
調理場は、コンクリートです。耐震改修はいつできるのか分かりませんが、調理場だけでも何とかならないでしょうか。

（企画推進部長）
耐震性による緊急度で順序をつけているため、大変申し訳ありませんが、平成２８年度に設計して平成２９年度に工事ということにさせていただいています。工事の際は、調理場等の他の設備についても、皆様に相談しながら進めさせていただければと考えています。

（地元意見）
トイレは早く男女別々にしていただかないと、今は誰が入っているかなと気を遣いながら利用しています。以前調査していただきましたが、男女別にすると事務室が約１ｍから２ｍ程度狭くなるとのことでした。外側に張り出さないと場所の確保ができないということなので、今の建物の補強方法では対応できないのではないかと思います。

（深澤市長）
改修を検討していくにあたっては、事務室やトイレも含めて、総合的に検討していかなければならないと思っています。

（地元意見）
地区公民館で行事があっても、床に座らなければならないので行きづらいです。先日訪れた他の地区公民館は椅子を使用する部屋でした。椅子なら行事にも行きやすいです。高齢者が増え、足腰の痛い人が多くなっていくので、将来の地区公民館はそういうことを基本に置いて、改善方法を検討すると良いと思います。

（深澤市長）

改修の際にはフローリング化も検討したいと考えていますので、椅子で座っていただけるように改修していくことも可能だと思います。それも踏まえて検討させていただきます。

（地元意見）
地区公民館で一番心配なのは、敷地と道路の出入りです。出入り口に設置してあるカーブミラーは見えないので改善すべきです。ここは道路が狭く歩道もないため、敷地から出るとすぐ自動車が走っています。経費もあまりかからないと思うので直すべきです。

（深澤市長）
昨日カーブミラーを交換したようですが、角度などの関係で見えづらい状況があるのかと思います。今一度確認させていただき、改善すべきところは改善させていただきたいと思います。

（地元意見）
最近、風が大変強く吹くようになりました。そのため山王団地に住んでいる方が、雷と風が怖いので地区公民館に避難したいが、避難指示が出ていない時でも利用できるだろうかと言われていました。松保公民館は避難できる施設ということになっているので、それに応えるよう検討してはどうでしょうか。

（深澤市長）
自主的に避難される例は、市内各所で実際にあります。避難勧告や避難指示がなくても、随時地区公民館を避難所としてご活用いただければと思います。

２　健康の維持・増進に資する地区体育館の施設・設備の整備について

＜地域課題＞
〇山麓の歪な土地にある地区体育館の潜在危険（不審者や蜂等害虫）の整備
〇来場する利用者の駐車場確保
・積雪時には、地区体育館入口に２台しか駐車できない。
〇地区体育館の機能を備えた設備改善
・トイレが男女併設であることと洋式トイレが少ないことから、体育大会や敬老会などの折に、テラスから主要地方道に向けて放尿する様は、なんとも言えない不潔感とひんしゅくを買っている。
・シャワーや洗面所がなく、数百ｍ離れた県営トイレで汗を流すという不便さに耐えている。
・バスケットボール、バレーボールの正式コートがない。

＜担当部局の所見等＞
【教育委員会】
〇不審者や蜂等害虫対策
防犯灯については、年内に、体育館裏側に夜間照明を設置する準備を進めています。害

虫防止網戸は、管理上の問題等から一般的に体育館には設置しておりませんのでご了解ください。

○駐車場確保

コカ・コーラウエストスポーツパーク第７駐車場の多目的広場の、閉園時間以降の開放について協議していますが、不審車両の侵入や車両の不法放置など、駐車場管理の観点から時間の延長は困難とのことであり、引き続き第１駐車場のご利用をお願いしたいと思います。

○体育館の設備改善

トイレについては、平成２５年度に体育館内のトイレを洋式化する改修を行ったところです。

地区体育館の改修等については、現在、鳥取市全体の体育館の再整備に向けた基礎調査を行っており、全市的に体育館の統廃合を検討することとしていますので、その結果を踏まえて検討したいと考えます。

（教育委員会事務局長）

まず、不審者や害虫等に対する対策についてご説明します。現在、周辺に３基の防犯灯がありますが、夜は地区体育館側が暗いということで、人が通るとセンサーで点灯する照明を３基、年内中に地区体育館の壁に設置する予定です。また、蜂などの害虫対策としては網戸の設置等が考えられますが、鳥取市内の体育館には管理上の問題などから網戸を設けていませんので、ご理解ください。

駐車場の確保については、これまでも何度かご要望をいただいており同様のご回答となってしまいますが、地区体育館のすぐ近くにある第７駐車場の利用は午後７時までですので、それ以降も地区体育館を利用される場合は、第１駐車場に駐車をお願いします。県によると、午後７時以降の鍵の管理について協定を結び、地区でしっかり管理していただけるのであればご要望にお応えできるとのことですので、ご検討をお願いします。

地区体育館の設備改善についてですが、トイレについては前回の地域づくり懇談会でご要望をいただきましたので、平成２５年度に洋式トイレを１つ整備しました。

地区体育館の改修等についてはさま

ざまなご要望をいただきますが、現在、鳥取市全体の体育館の再整備に向けた基礎調査を実施しています。その後、全市的に体育館の統廃合を検討していきたいと考えています。松保地区体育館の整備についても、この検討結果等を踏まえて検討したいと思います。

（地元意見）

地区体育館のトイレも男女別にしてほしいです。ただ、男女別にするには今のスペースではできないので、地区体育館横に男女別のトイレを新しく造り、今のトイレ部分を器具庫などのスペースとして改修してほしいです。器具庫もかなり狭いです。

（教育委員会事務局長）

前回の地域づくり懇談会でもご要望をいただきました。

確かに、古い建物でご不便をおかけしていると思いますが、トイレの改修以前に、今は鳥取市全体の体育施設のあり方を見直しているところです。それにより、必要な施設については改修を加えて存続させるとか似通った施設は統合するという方針を立てることになります。

また、残念なことに松保地区体育館は建物が古いため、合併浄化槽ではなく単独浄化槽です。容量の問題があり、場所を増やして流入量を増やすことが難しい状況です。

（地元意見）

トイレは１つ整備していただきましたが、既存のトイレを洋式に変えただけです。浄化槽の容量が足らないとのことですが、下水道が整備されていないのですか。浄化槽を大きい物に換えることも含めて検討してはどうですか。

（深澤市長）

松保地区体育館周辺は下水道の未整備地域であるため、浄化槽で対応しなければなりません。トイレを増やしても肝心な浄化槽の処理能力に合わなければいけませんので、ご理解いただきたいと思います。また、大きな浄化槽に換えることになると大掛かりな事業になりますので、費用対効果も含めて検討しなければならないと思っています。

（地元意見）

体育館の統廃合について説明がありましたが、松保の場合は体育館という名にふさわしくないような小さな建物です。正式には体育館ではありません。そうすると、例えば豊実にも大郷にも体育館があるので松保はなくなるのか、あるいはもっと大規模な体育館を造って集中するのかなど、統廃合についての基本的な考え方をお聞かせください。

（教育委員会事務局長）

その基本的な考え方、つまり方針を決めるための基礎調査をしているところです。どの程度のエリアにどの程度の大きさの体育館があり、そしてどの程度の利用があるかということを総合的に考えて、今後の体育館をどのように配置していくかを検討していきたいと思っています。

（深澤市長）
実は、吉成の市民体育館には耐震対応などの問題があり、まずこれをどうするかということが、今年度の課題になっています。鳥取市にたくさんある体育施設を、今後どのように効率的かつ効果的に整備していくべきかという全市的な話の中で、松保地区体育館についても考えていくことが必要だと思います。その検討を、まさにこれから始めようとしているところです。

（地元意見）
「体育施設」という表現をされましたが、野球場なども検討の中に含まれますか。

（深澤市長）
公共施設全体のあり方について検討しなければいけないということはありますが、「体育施設」と申し上げたのは市民体育館なども含めた市内の体育館についてです。まず、市内の体育館全体についてどうすべきか考える中で、地区体育館をどうすべきかについても考えるという意味で申し上げました。

（地元意見）
全市的に検討していくということで、検討に当たってアンケートを取ったり、地域の人数を把握したり、また委員会や審議会などを開いたりパブリックコメントを求めたりといった手順を踏んでいくのだと思いますが、地域の熱意が反映されるようにお願いします。

（深澤市長）
体育館を含め、公共施設の今後のあり方を検討する場合でも、市民の皆様と合意形成をしながら進めていかなければならないと思っています。パブリックコメント等も実施していくべきだと思いますし、場合によってはアンケートを取らせていただくなど、地域の皆様のご意向をできる限り反映できるような手順を踏むことが必要だと思っています。

（地元意見）
私達は良い体育館にしてほしいと望んでいますが、それ以前に、統廃合によって廃止される側になる可能性もあるのでしょうか。なくなることもあり得るとなると、そこが一番大きな問題です。

（深澤市長）
可能性で言えば何事もゼロということはありませんが、いずれにしても、将来を見すえて、効率的かつ効果的にご利用いただける配置を考えていくことが必要です。とにかく廃止ありきということではありません。吉成の市民体育館の件を含め、一つ一つの体育館について考えるのではなく、鳥取市内の公共施設が効果的かつ効率的に配置され、ご活用いただきやすい状況であるように検討していかなければならないと思います。そして、そのためには手順を踏む必要があります。私どもが一方的に、施設の建設や廃止を決めること

があってはならないと思いますので､そのあたりは十分皆様と意見交換をさせていただき、合意形成に努めていかなければならないと思っています。

（地元意見）

地区体育館の敷地は県有地ですが、一部市有地があります。県体育協会は、選手の簡易宿泊所や食事処のような所が欲しいと頻繁に言っています。だから、県に掛け合って市有地を買ってもらい、売却したお金で地区公民館の近くに新しい体育館を建ててもらえば、便利も良く管理もしやすくなります。

（深澤市長）

非常に大胆なご発想で、ご趣旨はよく分かりました。地区公民館と併せて検討するということもあり得るのかもしれませんが、いずれにしても、地区体育館については今以上ご不便をおかけしないよう検討していかなければならないと思います。

また、売却についてのご提案をいただきましたが、県所有ということであれば、県と随時相談や協議をしながら進めていきたいと思います。

（地元意見）

体育館と県道の間に桜の木が植えてある広場があります。桜の木を別の場所に移植すれば、広場を駐車場にすることができると思います。花見をする人は、上の日本庭園まで行くため、広場で花見をする人はほとんどいません。だから広場を駐車場にして、花見の人は自動車を駐車して歩いて上がるようにすれば良いと思います。あの広場は県の所有ですか｡県にいろいろ当たってみてください｡管理者にとっても管理する木が少なくなります。

（教育委員会事務局長）

確認しなくては分かりませんが、おそらく県の管理用地だと思います。ご提案の内容については、県と相談してみなければ分かりませんので、少し検討させてください。

＜担当課補足：体育課＞

公園管理者である鳥取県に相談しましたが、布勢総合運動公園は都市計画法に基づく都市公園であり、用途変更等にあたっては相当の理由を付して都市計画の変更を行う必要があります。

さらに、駐車場については、近隣に布勢総合運動公園駐車場があり有効活用もできることから、県から譲渡を受けたり占用することは困難な状況です。

（地元意見）

地区公民館を、私は女性グループでよく利用しています。また、地区の子ども達も、地区公民館の職員さんが公民館活動で計画を立ててくださって、特に夏休みなどはよく利用しています。子ども達は交通安全の学習をしていますが、いくら学習しても事故が絶えません。今年も自動車との接触事故があり、長期間入院した子どもがいます。

地区体育館についても、もともとは、地区公民館が狭いので敬老会を地区体育館でさせ

てほしいということで建てられたと聞いたように記憶しています。それなのに、耐震性が理由とはいえ、今日は将来廃止するかもしれないとの回答です。

私達にとって、敬老会の時などは地区公民館で作った料理を地区体育館まで運ばなければいけません。国体道路ができたので、横断がとても怖いです。

先ほどから、耐震性の問題や、広くすることについての意見がいろいろ出ていますが、私は、できれば地区公民館も地区体育館も他の場所に新築の方向で考えてほしいです。そして、板の間で椅子に座って会が開けるような場所が欲しいです。各町内にもそういう場所はありますが、地区公民館ではいろいろな講演会なども開催されているので、皆さんが参加したいのです。椅子に座れないことがネックになっています。地区体育館が建った時以上に高齢者も増えていますし、交通の便や子ども達の安全を考えて耐震性にこだわらずに検討してほしいです。トイレも洋式と和式では全然違います。併せて、地区公民館が建ってから世帯数も増えているので、人数に合わせた規模にしてほしいです。

（深澤市長）

いろいろな面で現在ご不便だと感じておられるとのことですが、現段階では全市的な計画で進めさせていただければと思います。ただ、安全の確保や施設の利便性については、ご意見として十分承らせていただきたいと思いますし、耐震計画についても将来を見すえながら進めていかなければならないと考えています。現時点で踏み込んだ回答をさせていただけませんが、十分お話を承らせていただきたいと思います。

５　市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

私の息子は、鳥取で就職して結婚し、昨年１２月に初孫が産まれました。そして、息子の妻は今年１２月に職場復帰するので、今年の春頃に市立保育園の入園申し込みをしました。ところが今日、現時点では市立保育園も民間の保育園も空きがないと連絡がきました。仕方なく無認可の託児所を当たっているところですが、そのうちの１か所は、１人の保育士が５人の子どもを見ているような所です。その他の託児所も千代水か湖山東の辺りなので、市内の自宅から子どもを送り、また市内の職場まで戻らなければいけないような所です。しかも１か所の託児所ではなく、２か所、３か所に掛け持ちで預かってもらうような状況です。そこもまだ確実に入園できるわけではないとのことで、職場復帰まであと２０日程度しかなく、とても焦っています。こういう状況の中で、若い方が２人目３人目の子どもを産んで育てようという気持ちになるでしょうか。子どもを育てるには、莫大なお金がかかります。お金を工面するのはとても大変なのです。８年半前に鳥取市にＵターンしてきた時には、鳥取市には全く仕事がないような状況でした。

私は現在、パートタイムで勤務しています。保育園に入れられないのであれば祖父母が見れば良いではないかと、世間の多くの人は思うと思います。しかし、６５歳まで満額の年金が受け取れない今日、仕事をやめて孫を預かってあげるとはパッと言えない状況です。

保育園に入れない状況は、行政としても把握していると思います。支援がなければ２人目３人目を産もうと思えないという状況も、把握していると思います。若桜町では、約２０年後には子どもを産むことができる女性が５３人になるなどといった、大変ショッキン

グな数字も発表されました。何とかしなければいけないという抽象的な考えだけでは、どうしようもないと思います。子どもを産み育てた昔の母親の気持ちからいくと、親が一番嬉しいのはお金をもらうことです。でも、一番必要なのは、保育所や学童保育です。何年後ということではなく、来年、あるいは再来年で何とかしていただきたいです。

（深澤市長）

保育園の入園については個別に把握していませんが、鳥取市は限りなく待機児童０ということで、この問題を非常に重要なことと認識しています。ただ、年度中途で申し込みいただいたという点で、なかなかご希望に沿えていない現状があると思います。担当課も、何とか入園、あるいは入所していただけるよう引き続き頑張っていると思いますが、職場復帰まであと２０日程度とのことですので、また早急に確認させていただきたいと思います。

また、仕事についてのご意見もいただきました。雇用の場を創出していくことは、鳥取市の喫緊の課題だと考えています。若い方に定着していただきご活躍いただくためには、働く場を確保していく必要があります。また、子どもを産み育てやすい環境づくりにも全力で取り組んでいきたいと思っています。

若桜町の推計は、「日本創生会議」が先日発表されたことです。鳥取市としては、人口減少に歯止めをかけるよう全力で取り組んでいこうとしています。１年や２年では目に見える効果として現れてきませんが､お孫さんが２０年後の鳥取市でご活躍いただけるよう、中長期的に先を見すえて、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

（地元意見）

私は１６年ほど前に松江に住んでいて、宍道湖の市民レガッタの事務局長をしていました。今では３００から４００クルーが出場するような大会になりました。湖山池で開催された県大会に出場したこともありますが、湖山池ももう少し良さを活かした利用ができないものかと思います。市民レガッタについて前市長に話したら、前市長は「良いことなので、もし実行することになったら協力してほしい」と言っておられましたが、それから何の音沙汰もありません。

また、湖山池では、市民は会員権のようなものがあれば魚釣りができると聞いています。それに対して、市外の人には規制がかかっていると聞きました。湖山池は、昔は汚かったかもしれませんが、今は海水が入っていてハゼがよく釣れます。４０ｃｍ程度のセイゴも釣れます。そのうち、チヌなど、ますますいろいろな魚が入ってくるようになると思うので、市で主催して釣り大会をやれとは言いませんが、何か湖山池を利用する方法を考えてはと思います。

（深澤市長）

湖山池に関しては、汽水化の件や塩分濃度を少し上げる件など、周辺の地域の皆様のご理解とご協力をいただいて実現することができました。ヒシやアオコの異常繁茂もなくなり、最近ではシジミが繁殖して漁獲できるようになりました。ハゼやセイゴが釣れるようになったのは汽水化の影響もあると思いますし、湖山池の利活用方法は他にもいろいろ考

えられると思います。１０月には、３０年ぶりに遊覧船を就航することができました。市民の皆様はもとより、多くの皆様に今後ますます活用いただけるよう、私どもも考えていきたいと思います。市民レガッタについても、１つのアイデアとして実現できると良いと思います。確か一昨年もご提案いただき、実現できたら素晴らしいことだと、教育長が前向きに回答させていただいたように記憶しています。行政が主体となって実施することは難しいかもしれませんが、市民の皆様で機運が高まれば、実現に向けて私どもも協力させていただけるのではないかと思っています。

（地元意見）

先日京都に行ったのですが、その際利用したタクシーの運転手が、湖山池に何度かエビを釣りに行ったことがあると言われていました。河原町にも、２年に一度は必ず鮎釣りに来られるそうです。その他にも、用瀬町のことや、湖山池にどんなエビがいたかなどを話されました。京都のタクシーの運転手がそんな話をすることに大変驚き、鳥取のどの辺りを知っているかといろいろ尋ねた所、どの谷にどんな岩魚がいるということまで話され、余計驚きました。豊岡でも、以前同じようなことを言われたことがあります。その方は、湖山池には毎年仲間とエビ釣りに行っていたが、池の水が汚くなってからは行っていないとのことでした。こういう面からも、新しい活かし方を検討してはどうかと思います。

（深澤市長）

はい。新しい活かし方ということで、今後もさまざまなアイデアやお考えを可能な限り反映して、活用方策を考えていきたいと思います。ご意見、ありがとうございます。

（地元意見）

東布勢に住んでいます。鳥取県で国体が開催されてから約３０年近く経ちますが、湖山駅から陸上競技場に向かう県道が、１０月９日に３０年ぶりに完成しました。県や市の職員にご尽力いただいて、３０年来の念願が果たせたと思います。ただ、その当時から言われていることですが、下水道整備がまだ残っています。整備計画に入ってない区域もあります。３０年前には、下水道は近いうちに整備しますという行政の説明があったのですが、３０年待ってもまだ整備されていません。湖山池に流れていく河川があるので、下水道はぜひ早急に整備してほしいと思います。

（深澤市長）

松保地区の公共下水道計画については、平成２５年度から２７年度の間で順次整備を進めています。３０年前の計画より遅れているのではないかというご意見でしたが、できる限り整備促進に努めたいと思っています。計画的に進めさせていただいていますので、ご理解ください。

（地元意見）

鳥取駅は立派な駅ですが、鳥取市には日本一の砂丘があるのですから、ぜひ「鳥取砂丘駅」と改名していただきたいです。鳥取駅は鳥取市の玄関です。玄関口に、ぜひ「砂丘」

を掲げてほしいです。平成１２年３月５日の日本海新聞の「やまびこ欄」にも投稿しました。

（深澤市長）

実は、他の駅の改名について地域の皆様からご要望いただき検討してみたことがあるのですが、手続きなどにかなりの時間や費用がかかることが分かりました。だからしないということではありませんが、「鳥取駅」という駅名で今は定着していますので、１つのアイデアとして承らせていただきたいと思います。空港では、米子空港の愛称が「米子鬼太郎空港」ですし、鳥取空港も「名探偵コナン」にちなんで、「鳥取砂丘コナン空港」という愛称を付けようと、名探偵コナンの本場である北栄町長さんと一緒に動いています。いずれにしても、市民の皆様や住民の皆様の合意形成が必要だと思います。「鳥取駅」という名前の方が良いという方もおられるかもしれませんので、ご提案として承らせていただきます。

（地元意見）

市役所本庁舎の件で少し現状を説明してください。議会でもいろいろな議論がされていますが、鳥取市民が議員を選出しているのに、いい加減なことになっているではないかという意見もあります。決まらない政治は他の所でもあるのかもしれませんが、そのあたりはどうなのですか。

６　市長あいさつ

まず、このように長時間、多岐にわたっていろいろなご意見やご質問をいただきましたことに、心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。いろいろお伺いすることができ、感謝の気持ちで一杯です。

最後に庁舎問題についてご質問をいただきました。市庁舎問題については、耐震改修が良いのではないか、あるいは現在地に新築した方が良いのではないかなど、いろいろな考え方がありご意見もいただいていますが、将来を見すえて次の世代に禍根を残さないためにも、私は新築移転しか選択はないと思います。理由はいろいろありますが、まずは市民の皆様に余計な負担をかけないことです。そして利便性、やはり良くなったと実感していただけるということが必要です。地震を始め大きな災害が発生した場合に、防災の最たる拠点が市役所本庁舎です。ここが真っ先に倒壊するようでは、市民の皆様の救援活動に当たることもできませんので、この問題は速やかに解決しなければならないと思っています。通常の予算や条例等は、出席議員の半分以上の賛成で可決されるのですが、庁舎の位置を変える条例については、出席議員の２／３以上の賛成が必要な、「特別多数議決」というものになります。残念ながら、１０月６日の議会では賛成に１人足りず否決されましたが、私は、再度状況を見極めて提案し可決をいただいて、この問題を速やかに収束させたいと考えています。そして、子育ての問題や雇用の問題、まちづくりの課題などいろいろな問題や課題に全力で取り組ませていただきたいと思っています。引き続き、皆様方のご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。私も職員と一丸となって、この問題の解決に全力で取り組んでいきたいと思っています。

本日、最後まで熱心にご議論いただきましたことに重ねて感謝申し上げ、お礼のご挨拶

に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。